

横芝光町民ギャラリー企画展

写真家小関与四郎が  
半世紀も前に撮った  
鬼来迎の写真が  
今よみがえる  
そこには今はもう見ることの  
出来ない光景があった

小関  
与四郎  
の  
記録

鬼来迎  
丑生  
衣通寺



7月8日(土)



9月17日(日)

開場時間 9:30~17:30

月曜日休館(ただし7/17開館)  
7/18、9/5休館

横芝光町立図書館2階  
町民ギャラリー

横芝光町宮川11917

主催 横芝光町教育委員会

☎0479-84-1358



### 小関与四郎

千葉県北東部から茨城県南東部の風景、そこに生きる人々の姿などを通して、その文化・風土を捉えることをテーマに、生涯この地に足をドッカと着けて撮り続けた写真家で、国内外にその名は知られる。

昭和10年、旧匝瑳郡野栄町（元栄村）に生まれ、自転車店で働いている時、古いカメラを入手し、写真術を独学で学び、カメラ雑誌に作品を投稿して、数多く入選、入賞する。

昭和39年、「カメラ芸術」（中日新聞社）の編集長よりプロ待遇として「オッペシの女」を同誌に8頁に渡り一挙掲載され、プロ写真家としてデビューを果たした。昭和47年、「写真集 九十九里浜一海に生きる人々」を出版。翌年、日本写真協会新人賞を受ける。昭和59年、九十九里浜を会場として、「九十九里浜の30年展」を開催、1週間に1万人を超える人々が来訪し、大きな反響をよんだ。

今回、氏が40～50年前当時の「鬼来迎」の様子を撮った写真を展示する。今は亡き地藏堂や今日演じない寺縁起の三段など、貴重な写真である。



小関与四郎氏



虫生入口の看板



和尚物語



鬼婆の虫封じ



大序  
赤鬼の登場

死出の山 亡者を救う観音菩薩

